

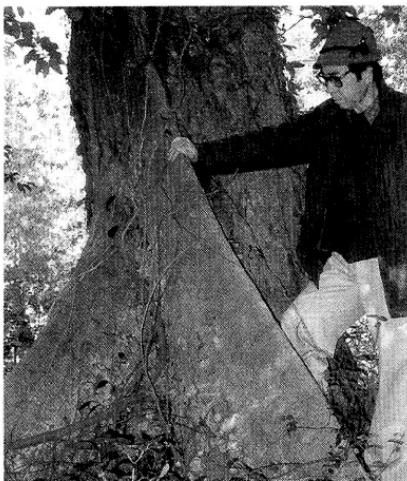
## 二十七、町指定天然記念物の 樹木たち①

篠栗町教育委員会は一〇〇六年一月一日に三ヶ所の森林を天然記念物に指定しました。三回シリーズでその主な樹木を紹介しましょう。

### 金出宝満宮のシイノキ

北部九州の低地には昔からブナ科常緑高木のシイノキ林が丘陵地に発達します。ここ金出宝満宮の南西斜面にも樹齢三百～四百年の巨木が群落状に残り、見事な景観です。うつそうと繁った鎮守の杜に入りますと、直径一トメを超す巨木群が林立し、中には大小の板根が四方に出た巨木もあります。杜の木々の高さは平均二十一メートルほどで、ここの中のシイノキは二種類からなっています。葉が大形で実が細長く大きく、樹皮に深い縦溝が沢山入っているのがスダジイ、一方、葉が小形で実が丸く小さく、樹皮が比較的に平滑な

のがツブラジイですが、板根は双方に出ています。元来、板根は南方に多い生態現象で、ある特定の土壤菌類との共生により発達する支柱根です。それはシイノキが南方系樹木にほかならないからです。農耕文化が始まる前のこの付近の森林は恐らくこのようないい状態だったと考えられています。



樹齢三百年のツブラジイの板根